据付工事説明書

幅45㎝ ドア面材タイプ

食器洗い乾燥機（家庭用）

ビルトインタイプ

■工事される方へのお願い…この「据付工事説明書」を据付工事前に必ずお読みください。

◎製品の移動や据え付け時は、万一のケガ防止のため手袋をして作業を行ってください。

◎据付工事が終わりましたら、（据付工事後の点検確認）のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。

据付工事後の点検確認

●チェックリスト

点検項目		点検内容	参照ページ	チェック
機器及びその周辺	ドアの開閉	他の機器への障害はありませんか。	4	
	排気口の調整	カウンターの最前部より5㎜程度出ていますか。	11	
給水・排水接続	給湯器との接続の場合	指定する給湯器に接続されていますか。	7	
	フィルター	フレキシブルホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	11	
	排水ホース	排水管との接続部が確実に接続したことを確認しましたか。また、押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	10	
電気接続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V15Aのアースターミナル付埋込コンセントに接続しましたか。	5	
		アース線を接続しましたか。	5・9	
転倒防止		本体の調整脚が転倒防止金具にセットされていますか。	10	
試運転		試運転を行い、正常に動作しましたか。	12	

試運転

1．この『据付工事説明書』の12ページに基づいて試運転を行ってください。
2．試運転後は、電源コンセントは差し込んだまま（機器専用ブレーカーも「ON」のまま）
給水栓は開いたままにしておいてください。

お客様への取扱説明

1．別添の『取扱説明書』に従い、使用上の注意事項・正しい使用方法を説明してください。
2．保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入のうえ、この『据付工事説明書』とともにお客様に渡していただき、保管のお願いをしてください。

59174720

ケA47ー02

安全上のご注意 必ずお守りください。

絵表示について

この据付工事説明書では、製品を正しく据え付けしていただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。
※警告・注意表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を薄めの文字で表記しています。
（例：やけどのおそれがあります。）

絵表示の例

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

アース線接続

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はアースを確実に取り付けてください）が描かれています。

⚠警告

分解禁止

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理は行わないでください。
  発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

アース線接続

- アースを確実に取り付けてください。
  故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

必ず守る

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。
  火災の原因になります。

必ず守る

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
  差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

必ず守る

- 定格15A以上のコンセント（専用）を単独で使ってください。
  他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

水ぬれ禁止

- 水につけたり、水をかけたりしないでください。
  ショート・感電の恐れがあります。

火気禁止

- 火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けないでください。
  変形や火災の恐れがあります。

ぬれ手禁止

- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。
  感電の原因になります。

⚠注意

必ず守る

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
  感電やショートして発火することがあります。

禁　止

- 電源コードを傷付けたり、熱器具に近づけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁　止

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
  感電・ショート・発火の原因になります。

禁　止

- 交流100V以外では使用しないでください。
  火災・感電の原因となります。

必ず守る

- 高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付けてください。

1. 据付工事される方へ

⚠警告

- この『据付工事説明書』に従い、有資格者による正しい工事を行う。
- 配管工事は全て水道法・建築基準法・各都市の条例･規定に準じて行う。
- 電気配線工事は電気設備技術基準や、内線規程に準じて行ってください。
  配線工事は電気工事士の資格が必要です。
- 据付工事完了後は（据付工事後の点検確認）のチェックリストに基づいて、必ず点検する。
  思いがけない事故の原因になります。
- 据付工事完了後は別添の『取扱説明書』に従い、使用上の注意事項、正しい使用方法をお客様に説明する。
  誤った使用をされた場合、重大な事故の原因になります。

◎試運転完了後、保証書に必要事項を記入のうえ、『取扱説明書』・『据付工事説明書』とともに、お客様へ渡していただき、保管のお願いをしてください。

も　く　じ

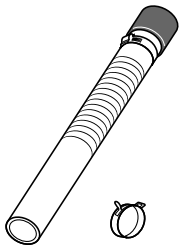
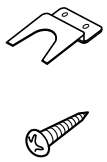
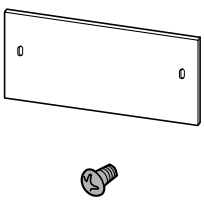
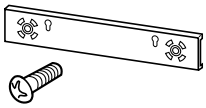
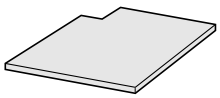
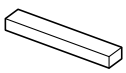
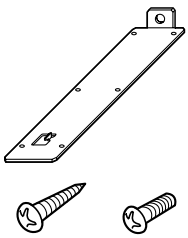
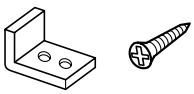
1. 据付工事される方へ ・・・・・・・1
2. 開こん（付属品の確認）・・・・・・2
3. 各部のなまえと寸法 ・・・・・・・3
4. 据付場所について・・・・・・・・・4
5. 電気工事について・・・・・・・・・5
6. 給・排水工事について・・・・6～7
7. 給湯器について・・・・・・・・・・7
8. 据付工事手順 ・・・・・・・8～１１
9. 試運転・・・・・・・・・・１２～１３
10. 試運転終了後の作業 ・１４～裏表紙
11. 仕様･・・・・・・・・・・・・・裏表紙

2. 開こん

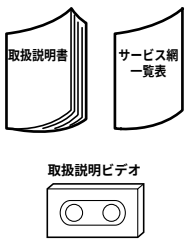
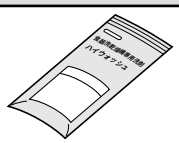
▣付属品の確認

次の部品が付属品として同こんされています。不足のないことを確認してください。
本体およびかごのテープ、ダンボールなどは全部取りはずしてください。

◎据え付け工事に必要な付属品

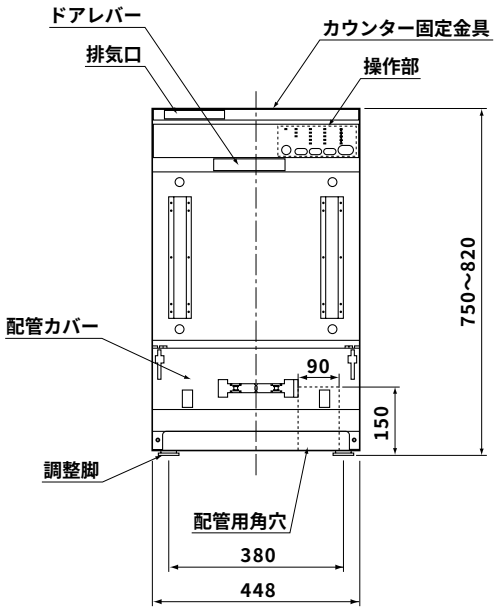
部　品　名	形　　状	数量	部　品　名	形　　状	数量
排水ホースセット （・排水ホース：60㎝ ・ホースバンドネジ式 ・排水ホース継手 ・ホーススプリング） ホースバンドバネ式		1セット 1個	転倒防止金具 タッピンネジ（呼び4×18）		1個 2本
ケコミカバー 小ネジ（黒色） （M4×6）		1枚 2本	ケコミカバー取付板 タッピンネジ（呼び4×10）		1枚 2本
			配管カバー取付ネジ タッピンネジ (呼び4×10)	 （ネジピッチ　小）	2本
型紙		1枚	タッピンネジ (呼び4×18)		2本
フィルター （給水フレキシブル管 にテープ止め）		1個	据付工事説明書		1冊
ドア材クッション		1個	ドア材取付金具 タッピンネジ(呼び4×14) 小ネジワッシャ付 （M5×10）		2個 12本 2本
ドア材保護カバー 木ネジ(呼び3.1×13)		2個 2本			

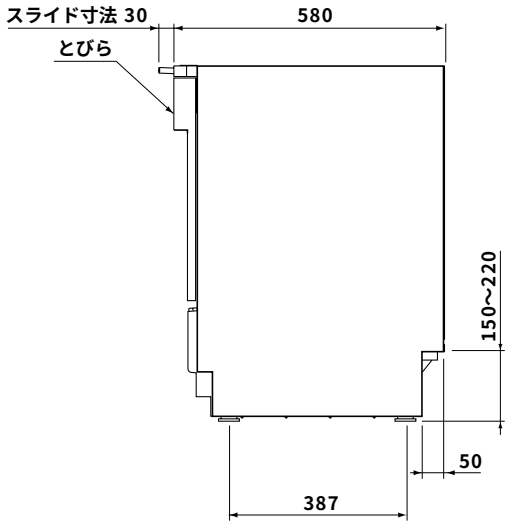
◎ご使用時に必要な付属品

部　品　名	形　　状	数量	部　品　名	形　　状	数量
取扱説明書 サービス網一覧表 取扱説明ビデオ		1冊 1枚	専用洗剤（100g） 計量スプーン付		1個
			乾燥仕上げ剤		1個

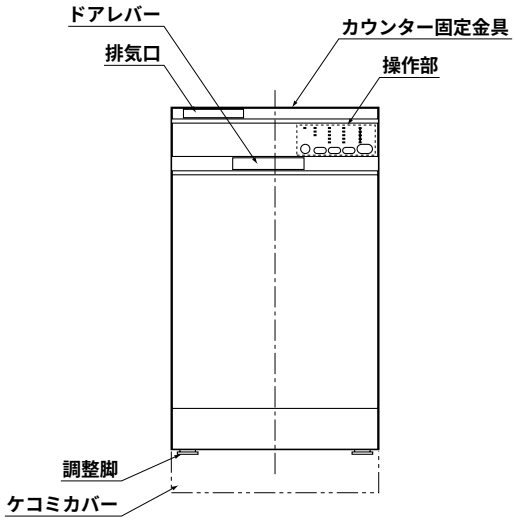
3. 各部のなまえと寸法

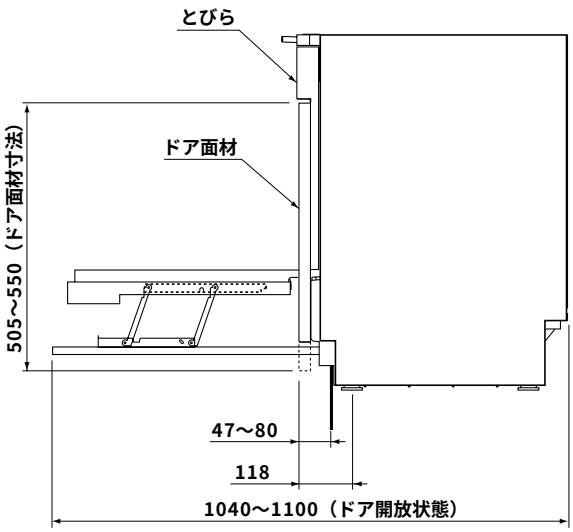
FB4504WC・FB4504WF





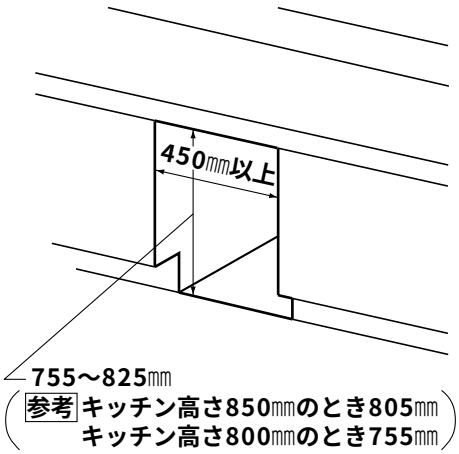
■ドア面材取付時





4. 据付場所について

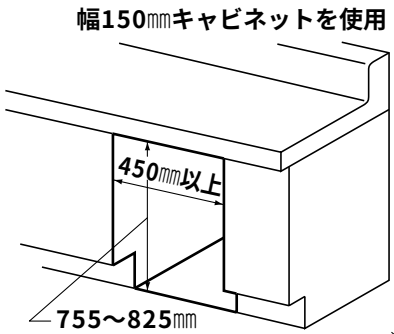
中間にビルトインする場合



参考 キッチン高さ850㎜のとき805㎜
キッチン高さ800㎜のとき755㎜

片側がフリーの場合

●片側がフリーの場合は幅150㎜キャビネットなどを使用して、カウンターを支える処置をします。



参考 キッチン高さ850㎜のとき805㎜
キッチン高さ800㎜のとき755㎜

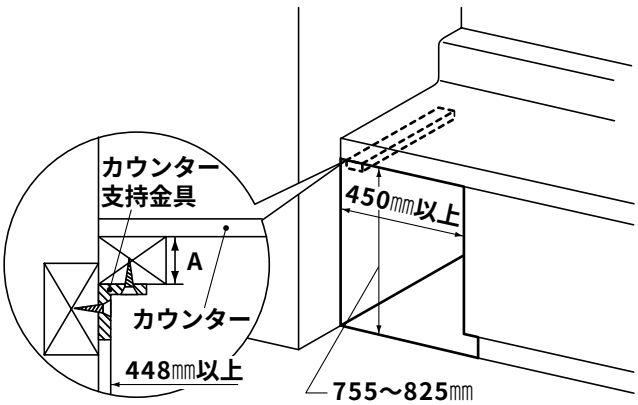
片側が壁面または、トールユニットの場合

●カウンター支持金具は、別売の天板補強材キット（FP0109）または、市販のL金具を使用します。

※締結ネジの長さは、右図のA寸法より5㎜以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。
（電気設備技術基準182条により義務づけられています。）

●ビルトイン型加熱機器などと並べて設置する場合は、別売の天板補強材キット（FP0109）でカウンターの補強処置を施してください。

●参考 寸法はカウンタ厚さ45㎜でカウンタ下面と本体上面とのすきまを5㎜としたときの寸法です。

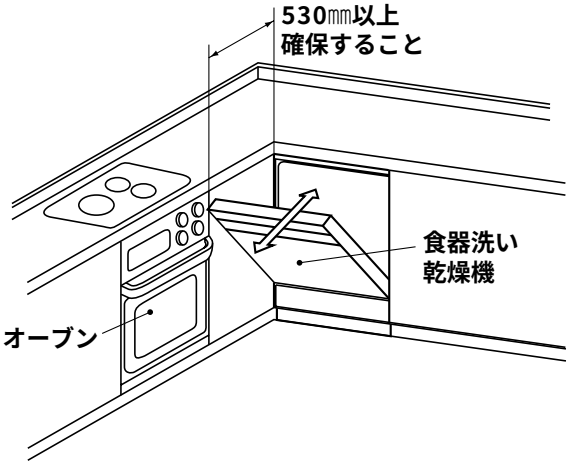


参考 キッチン高さ850㎜のとき805㎜
キッチン高さ800㎜のとき755㎜

お願い

●L型配列のコーナー部に設置すると、本機器のドアを開閉する際にオーブンなどの取っ手部に当たったり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。

※本機器の金属部分が、家屋の壁中のラス網や金属板・流し台のステンレス天板と電気的に接触しないようにしてください。
（電気設備技術基準182条により義務づけられています。）



5. 電気工事について

1. 電源の確認

工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。

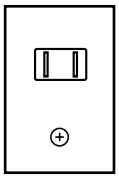
1-1 電源仕様

⚠警告

必ず守る

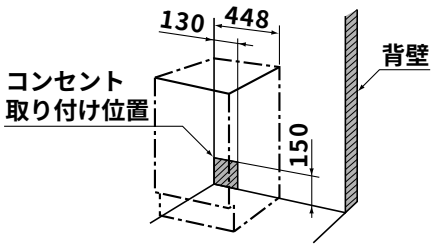
- **定格15A以上のコンセントを単独で使用する。**
  他の機器と併用すると分岐コンセント部の異常発熱により発火するおそれがあります。

- 本機器は100V仕様、50Hzと60Hzは共用です。
- 電源回路は100V・15A以上の専用回路が必要です。
- コンセントは125V・15Aのアースターミナル付埋込コンセントを設けてください。



1-2 コンセントの取り付け位置

- コンセントは本体を設置する場所の背面に設けてください。
  （コンセントを壁面に必ず固定してください。）



1-3 アース線の取り付け

⚠警告

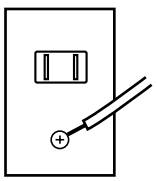
アース必要

- **アース線を確実に取り付け、電路に漏電しゃ断器を設置する。**
  故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

  ※主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、漏電しゃ断器を新設する必要はありません。

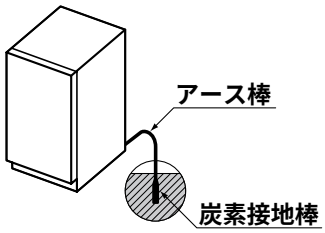
1-4 アースターミナル付き埋込コンセントにアースする場合

- アース線を確実にアースターミナルに接続してください。



1-5 炭素接地棒でアースする場合

- アース工事は必ずお買い上げの販売店または、電気工事店に依頼してください。
  （電気工事士の有資格者がD種接地工事をするよう法令で定められています。）
- ガス管・水道管・電話のアース線・避電針のアース線には絶対に接続しないでください。
  （法令などで禁止されています。）
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。
  （アース工事は有料ですが、ご了承ください。）

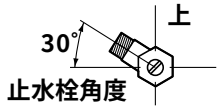


6. 給・排水工事について

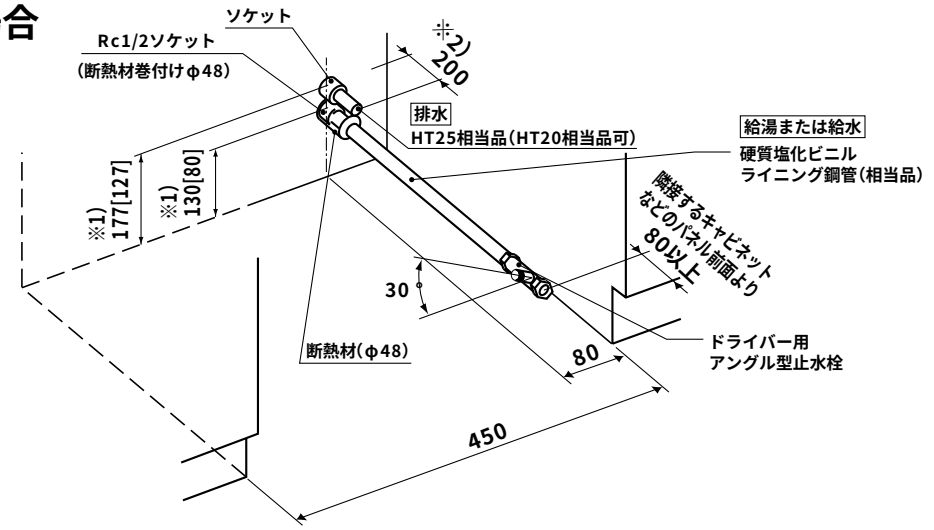
◎本機器が使用できる水道水圧は0.03～1MPa（0.3～10kgf/㎠）の範囲ですが、配管によっては圧力が上昇する場合がありますので、0.6MPa（6kgf/㎠）を越える場合や台所の水栓などの操作時に水道配管の異常音（ウォーターハンマー現象）が発生する場合は減圧弁を必ず取り付けてください。

◎本機器は配管直結タイプのため設計および施工工事の段階で給・排水の位置決めを正確に行ってください。

- 給水・給湯管は硬質塩化ビニルライニング鋼管（相当品）を使用して断熱材を巻いてください。（給湯の場合は必ず耐熱配管にします。）
- 排水本管に至るまでの接続部分も耐熱塩化ビニル管（HT25相当品）を使用してください。
- 配管用接着剤は、耐熱用を使用してください。
- ドライバー用アングル型止水栓を必ず取り付けてください。（止水栓は閉じた状態で、出口角度を約30°上向きにしてください。）
- 排水管は給水管の上に配置します。



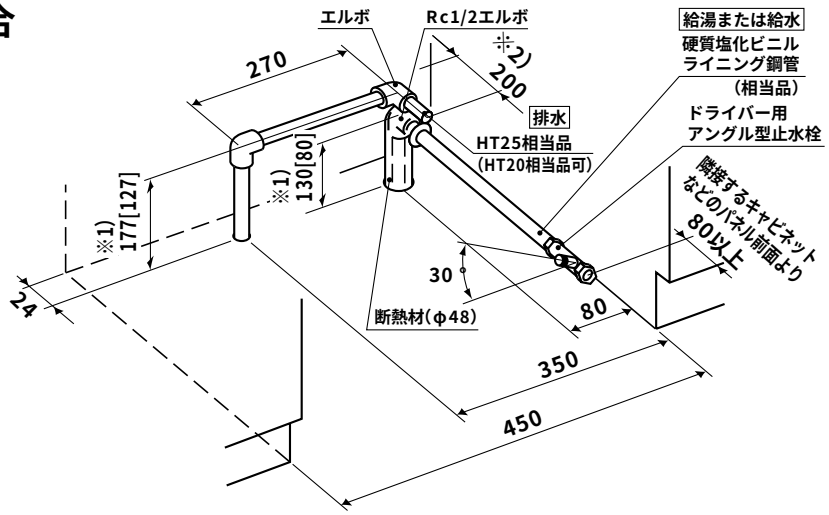
壁出しの場合



※1）寸法はキッチン高さ850㎜の場合を示し［　　］はキッチン高さ800㎜の場合を示します。
※2）排水管の長さ200㎜は、キッチン奥行L=60㎝基準です。
（キッチン奥行が長い場合は、延長してください。）

- ※1の排水管高さ177［127］は、建築基準法上必要な寸法です。

床立上げの場合

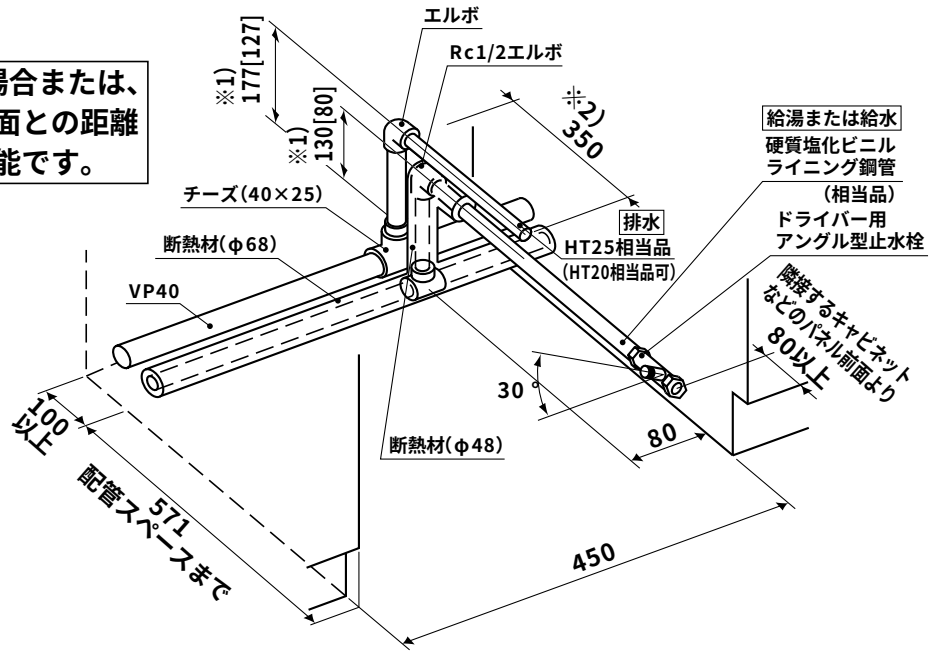


※1）寸法はキッチン高さ850㎜の場合を示し［　　］はキッチン高さ800㎜の場合を示します。
※2）排水管の長さ200㎜は、キッチン奥行L=60㎝基準です。
（キッチン奥行が長い場合は、延長してください。）

- ※1の排水管高さ177［127］は、建築基準法上必要な寸法です。

床ころがしの場合

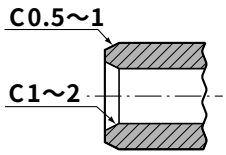
キッチン奥行L=75㎝の場合または、壁面と食器洗い乾燥機背面との距離に余裕がある場合のみ可能です。



※1）寸法はキッチン高さ850㎜の場合を示し［　］はキッチン高さ800㎜の場合を示します。
※2）排水管の長さ350㎜は、キッチン奥行L=75㎝基準です。
（キッチン奥行に合わせて長さを調節してください。）

- **※1の排水管高さ177［127］は、建築基準法上必要な寸法です。**

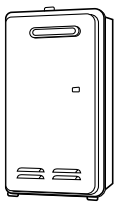
お願い



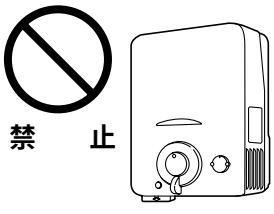
- **排水管HT25の端面内周に、面取り（C1～2）を施してください。**
- **給・排水管の端面は、バリのないよう処理し、かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除いてください。**
- **給水管工事後、管路には工事に伴うゴミやスケールがたまっています。これらのゴミ類は、本体側給水管（フレキシブル管）のナット部に入っているフィルターに目詰まりし、給水不良の原因となります。このため、本体の給水管（フレキシブル管）を接続する前に。止水栓を開らき、水受け容器などに水を出しゴミが出なくなってからフレキシブル管に接続してください。**

7. 給湯器について

◎給湯接続すると運転時間が大幅に短縮されます。時間短縮をのぞまれる方は給湯接続をおすすめします。
◎給湯は10号以上の先止め式給湯器などで70℃以下の温度に調整可能なものに接続してください。



先止め式給湯器に接続してください。



元止め式湯沸器に接続しないでください。

⚠注意

- **小型深夜電力利用温水器・元止め式湯沸器からの配管は絶対にしない。**

  機器へ給水されなかったり湯沸器からの水漏れのおそれがあります。

必ず守る

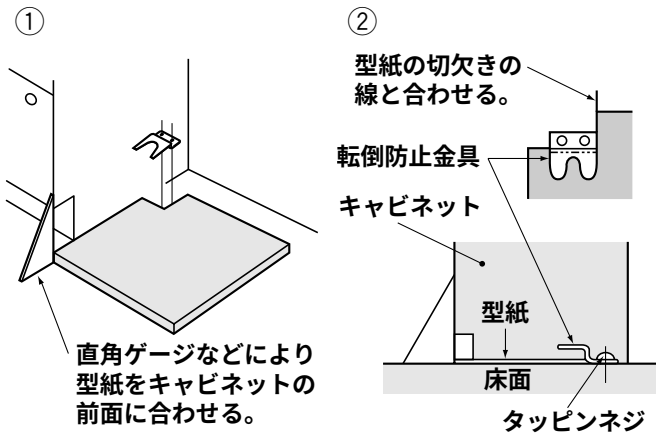
- **食器洗い乾燥機の水道水圧は、0.03～1MPa（0.3～10kgf/㎠）の範囲で使用してください。**
  とくに0.6MPa（6kgf/㎠）以上では、給湯器に所定の減圧弁を必ず取り付ける。

  水漏れの原因になります。

8. 据付工事手順

1. 転倒防止金具の取り付け

◎必ず転倒防止金具を取り付けてください。

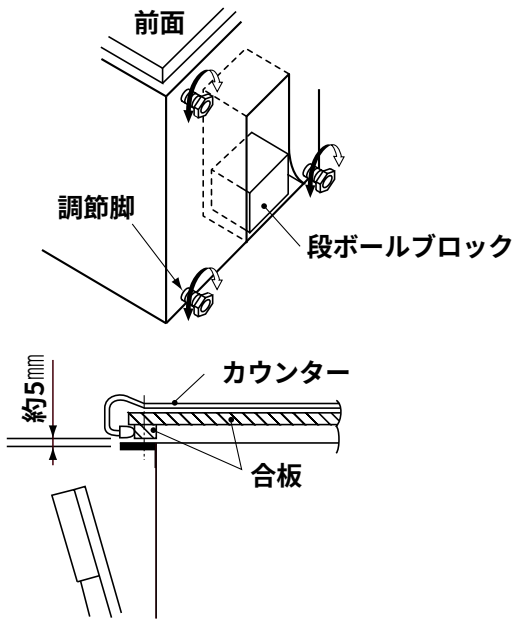
作　業　手　順	説　明　図
①型紙（本体天面のダンボール）を床面に敷き、右図のように隣接するキッチンのドア面に合わせてください。 ※直角ゲージ（金尺、三角定規など）で正確に型紙を当てて位置決めしないと転倒防止の機能がはたされません。 ②切り欠き部に付属の転倒防止金具を置いて、同こんのタッピンネジ（呼び4×18）で床面に取り付けてください。 ③型紙をはずしてください。（取り付け完了。）	

2. 本体の高さ調節

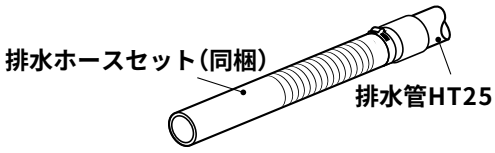
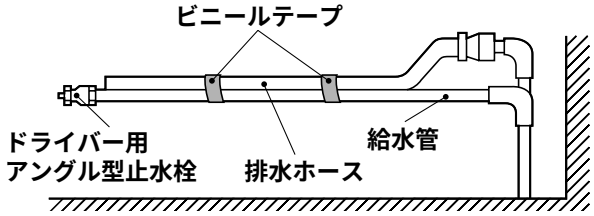
⚠注意

必ず守る

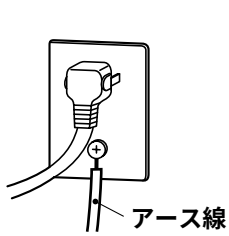
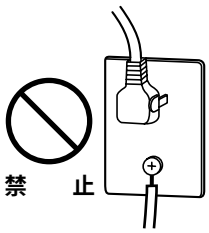
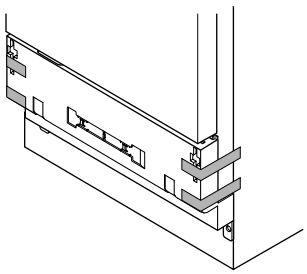
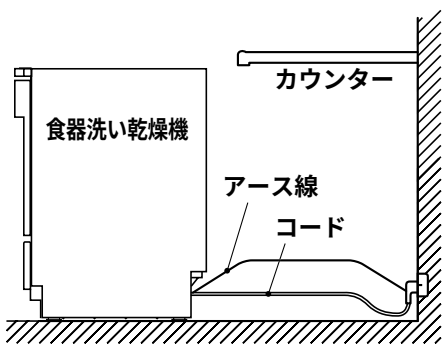
●必ず機器が水平になるように脚の高さを調節する。
水漏れの原因になります。

作　業　手　順	説　明　図
●カウンターと本体のすき間が約5㎜になるように、スケールなどで測って調整脚の高さを調節してください。（調整脚の回転は、電動ドライバーでも調節できます。） ※本体の一部と金属製のカウンターを接触させないでください。（電気設備技術基準182条により義務づけられています。） **お願い** 本体底のトンネル部に挿入されている梱包材を取り除いてください。	

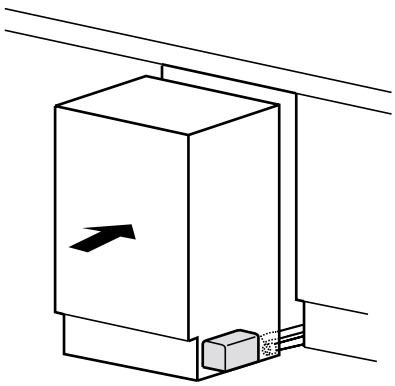
3. 排水管と排水ホースの接続

作　業　手　順	説　明　図
①排水ホースセットを排水管に接着してください。ソケットを排水管HT25相当に十分に挿入して接着してください。 ※接着剤は耐熱用を必ず使用してください。 ● HT20への接続はホースバンドをゆるめ、アダプターを取りはずしてホースをHT20に差し込み、ホースバンドで取り付けてください。 ②給水管へ排水ホースをビニールテープなどで止めてください。	①  ② 

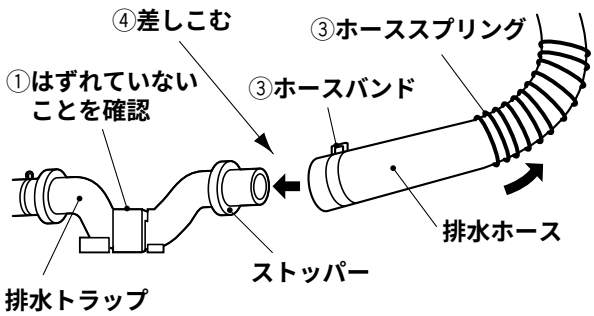
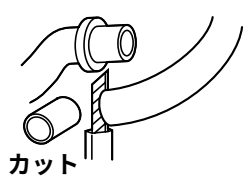
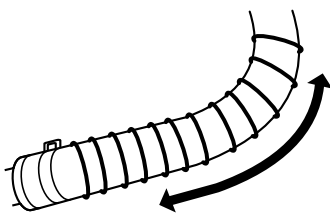
4. 電源コード・アース線の接続

作　業　手　順	説　明　図
⚠警告 ● 電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結しない。 ● コンセントを床面にころがして電源プラグを差し込み、使用しない。 感電・漏電・火災の原因となります。 **⚠注意** ● 電源プラグはコードが下方向に出るように、コンセントを奥まで確実に差し込む。 上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火するおそれがあります。 ①配管カバーを固定しているテープ（4カ所）をゆっくりきれいにはがした後、配管カバーを少し持ち上げるようにして本体から取りはずしてください。 ②電圧が100Vであることを確認してから埋め込みコンセントに電源プラグを差し込みます。 ③アース線をアースターミナルに接続します。 ※ガス管・水道管・電話のアース線・避雷針などのアース線には絶対に接続しないでください。 （法令などで禁止されています。）	 上図のように 差し込む  電源プラグの 向きが逆です。 ①  ②・③ 

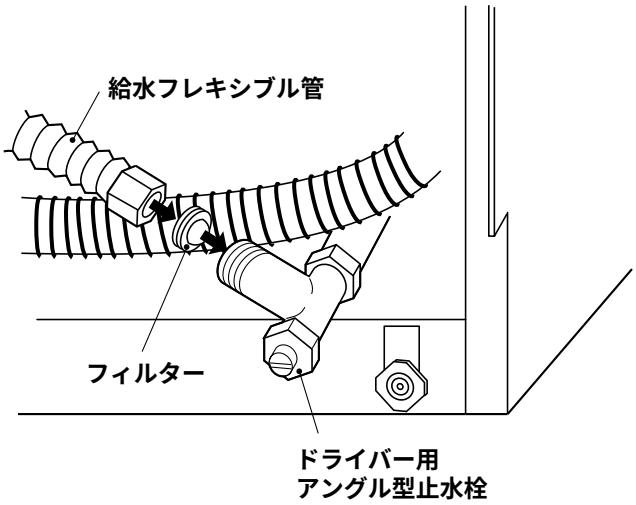
5. 本体のビルトイン

作　業　手　順	説　明　図
⚠注意 ● ビルトインのとき電源コード・アース線・排水ホース・給水管などにキズをつけない。とくに電源コードは、転倒防止金具と調整脚との間に挟み込まない。 感電・漏電・火災・水漏れの原因となります。 ①隣接する機器などに注意し、給水管・排水ホースが台枠のトンネル部を通るように本体の下方をゆっくりと押しながらビルトインしてください。 ※本体の金属部分が家屋の壁中のラス網や金属板・流し台のステンレス天板と電気的に接触しないようにしてください。（電気設備技術基準182条により義務づけられています。） ②機器本体のドア面とキッチンのドア面を合わせてください。 ※本体の調整脚が転倒防止金具にセットされたかドアを開け、軽くドアに荷重をかけて調べてください。	① 

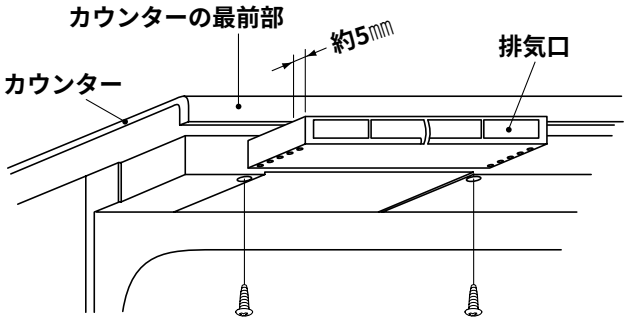
6. 排水ホースの接続

作　業　手　順	説　明　図
①機器本体の排水ホースを接続した排水トラップは、本体の所定の位置にはめ込んでいます。はずれていないことを確認してください。 排水トラップをベースからはずした場合は、必ずもとの位置にはめ込んでください。（トラップ機構として法令上必要です。） ②排水ホースは若干長めになっています。排水ホースが折れないように排水トラップに合わせてカットして調節してください。（このとき、排水ホースをねじらないように注意してください。） ③排水ホースセットにホーススプリングを入れ、ホースバンドを付けてください。（トラップ機構として法令上必要です。） ④排水ホースセットを排水トラップのストッパーまで差しこみホースバンドで止めてください。 ⑤ホーススプリングを排水ホースセットの曲がり部全体にセットしてください。	 ②  ⑤ 

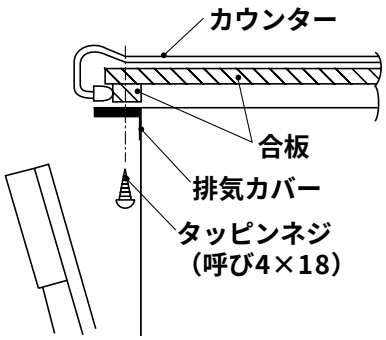
7. 給水フレキシブル管の接続

作　業　手　順	説　明　図
⚠注意 ●給水フレキシブル管は切断しない。 水漏れの原因となります。 ●必要以上に強く締め付けますと、パッキン部がやぶれますので注意してください。 ●ドライバー用アングル型止水栓にフィルターを入れ、角度を合わせて給水フレキシブル管（本体）を確実に接続します。 （フィルターは給水フレキシブル管にテープ止め。）	

8. 排気口の調節

作　業　手　順	説　明　図
⚠注意 ●排気口の調整は必ず行う。 カウンターの裏面芯材に腐食などの支障をきたすおそれがあります。 ●ドアを開いて排気口下部の締め付けネジ（2本）をはずし、排気口の前面がカウンターの最前部より5㎜程出るように締め直します。	

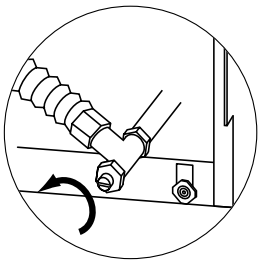
9. カウンターへの取り付け

作　業　手　順	説　明　図
●本体のドアを開けて、カウンター合板部へ直接タッピンネジ2本で固定してください。 ※人工大理石カウンターなど、できないものもあります。 ●固定時、タッピンネジがカウンターの金属部に接触しないようにしてください。 ※電気設備技術基準182条により義務づけられています。	

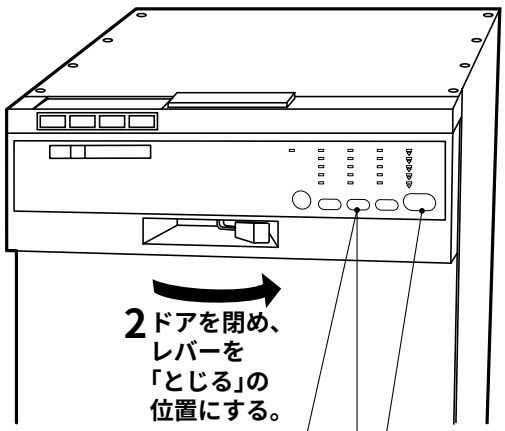
9. 試運転（試運転時はドアを開けないでください。）

◎試運転を行う前に、電源の通電と給水の開栓を確認してください。

◎次の手順で試運転を行ってください。



1 止水栓を開く



2 ドアを閉め、
レバーを
「とじる」の
位置にする。

3 コーススイッチを
2秒間押し続ける。
”ピッ“というブザー音が
鳴ってもコーススイッチを
押し続けておいてください。

4 コーススイッチを押しながら
スタートスイッチを押す
「運転しました」と音声報知する。
（LED「標準」が点滅する）

次のチェックを行ってください。

①一定量の水がたまるまで、「シャー」という給水音がすることを確認してください。

②次にシャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転します。このとき、「バシャバシャ」という音がするか確認してください。

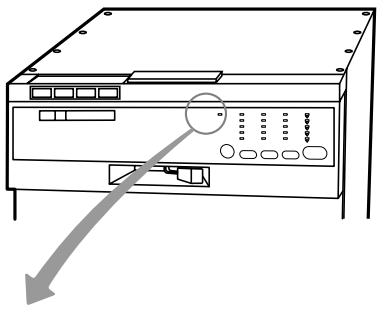
③運転終了後、「運転が終了しました」と音声報知します。この後電源が切れ、全てのランプが消灯したか確認してください。

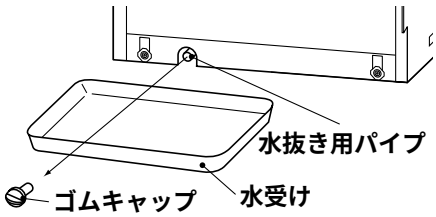
④運転中、給水管・排水管の接続部やその他からの水漏れが無いことを確認してください。

⑤ドアを開け、庫内の水が排水されることを確認してください。
（残さいフィルターの下に若干の水が残りますが、これは異常ではありません。）

▣異常報知について

◎試運転で下記のように音声報知やランプ表示で機器異常を知らせた時は下記の内容を確認してください。

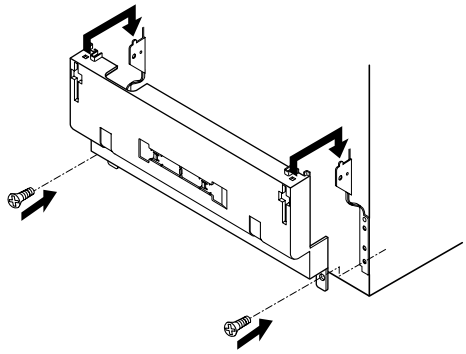


音声報知とランプ表示	内　　容	処　　置
音声 水漏れが発生しています。 水道栓を閉めてください。 点検修理が必要です。 ランプ　2時間・4時間・6時間 ランプが1回点滅 2時間　標　準　乾燥のみ 4時間　念入り　標準乾燥 6時間　スピーディ　強力乾燥 快　速　送風乾燥 予洗い　余　熱	漏水異常 機内の水通路の接続部や給水バルブの接続部などからの水漏れが発生していることを示しています。	①電源ブレーカーを切る。 ②水抜栓部のゴムキャップをはずし、底板にたまった水を抜く。 ※水受けできるような皿を準備してください。 ③水抜き後、ゴムキャップを差し込む。 ④電源ブレーカーを入れる。 
音声 水道栓が閉まっている可能性があります。点検してください。 ランプ　2時間・4時間・6時間 ランプが2回点滅 2時間　標　準　乾燥のみ 4時間　念入り　標準乾燥 6時間　スピーディ　強力乾燥 快　速　送風乾燥 予洗い　余　熱	給水異常 断水や給水管が詰まっているか、水道管の凍結あるいは水栓の開け忘れなどで給水できないことを示しています。	①電源ブレーカーを切る。 ②水栓（給水栓および機器内の止水栓）が開いているか確認する。 ※断水の場合は、断水の回復を待つ。 ③電源ブレーカーを入れる。
音声 異常があります。 点検修理が必要です。 ランプ　2時間・4時間・6時間 ランプが3回点滅 2時間　標　準　乾燥のみ 4時間　念入り　標準乾燥 6時間　スピーディ　強力乾燥 快　速　送風乾燥 予洗い　余　熱	排水異常 排水ホースの折れや、異物の詰まりによって、排水できないことを示しています。	①電源ブレーカーを切る。 ②排水ホースが折れ曲がっていないか確認する。 ※折れ曲がっていた場合、折れ曲がっている部分に必ず同こんのホーススプリングを挿入する。 ③電源ブレーカーを入れる。

- 上記処置後、再度試運転を行ってください。
- 試運転後は、電源コンセントは差し込んだまま（機器専用ブレーカーも「ON」のまま）給水栓は開いたままにしておいてください。

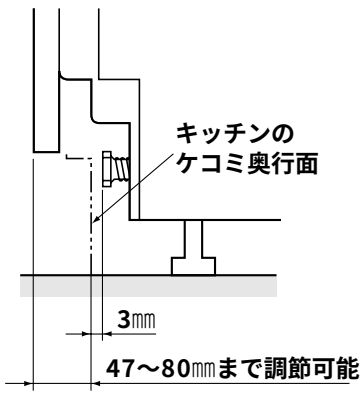
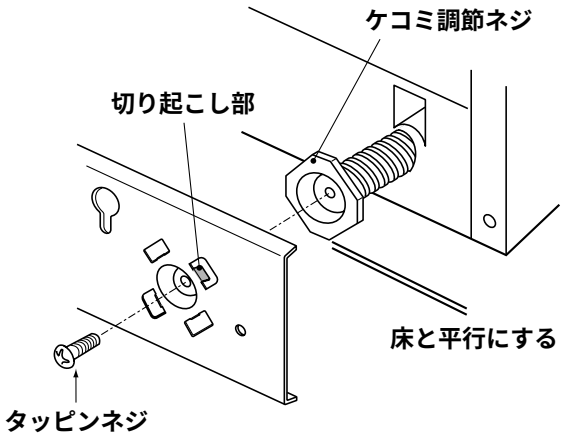
10. 試運転終了後の作業

1. 配管カバーの取り付け

作　業　手　順	説　明　図
●配管カバーの上部の穴を本体突起部にひっかけてから下部をネジで締め付けてください。 （左右２ヶ所）	

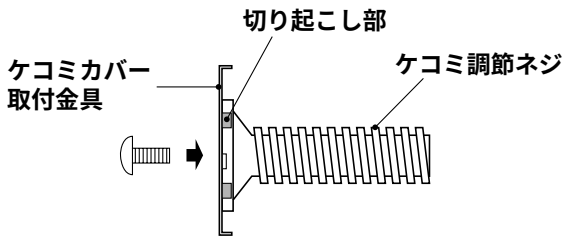
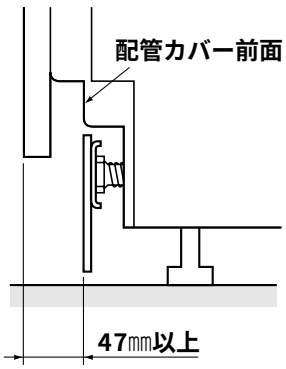
2. ケコミカバーの取り付け

2-1 ケコミカバーの奥行調節

作　業　手　順	説　明　図
●この機器のケコミ奥行寸法は現場で47～80㎜の範囲で調節できるようになっています。 ①ケコミ奥行寸法の調節 ベースの前面下部に組み込まれているケコミ調節ネジを隣接するキッチンのケコミ奥行面から3㎜奥まった位置になるようにしてください。 このときケコミ調節ネジの四角の頭部の一辺が床面と平行になるようにしてください。 ※左右のケコミ調節ネジの出代を合わせてください。	①  

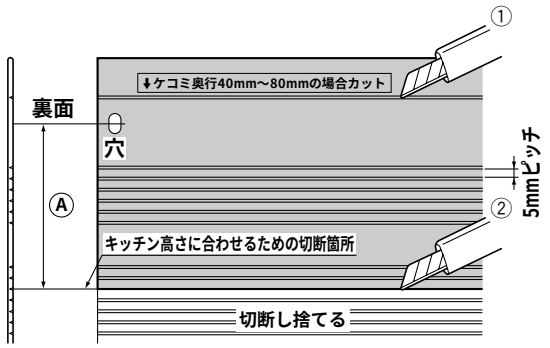
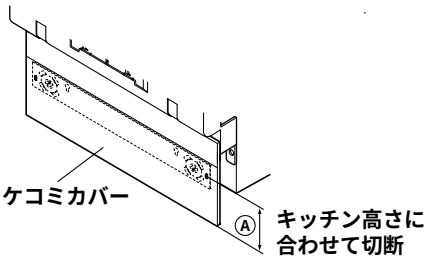
2. ケコミカバーの取り付け

2-1 ケコミカバーの奥行調節

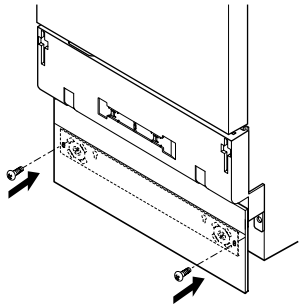
作　業　手　順	説　明　図
②ケコミカバー取付金具の取り付け ●同こんのケコミカバー取付金具の左右の切り起こし部にケコミ調節ネジの頭をはめ込んでください。 このときに、キッチンのケコミ奥行面から約2㎜奥まった位置になるようケコミ調節ネジの出代を再調節してください。 ケコミ調節ネジは90°まわすと出代が1㎜変化します。ケコミカバー取付金具の表面に刻印されている上・下を確認し、まちがわないようにしてください。 ●同こんのタッピンネジ（呼び4×10）2本でケコミカバー取付金具を取り付けてください。 **⚠注意** ●ケコミ奥行寸法は47㎜（配管カバー前面）より前へは絶対に出さないでください。 ドア面材にひっかかり、ドア面材や機器を傷つけたりけがのおそれがあります。	②  切り起こし部をはめ込む 

2-2 ケコミカバーの切断

●同こんのケコミカバーを裏面のV溝に沿ってカッターナイフなどで切断してください。キッチン高さやケコミの奥行寸法によって、切断箇所が異なりますので注意してください。

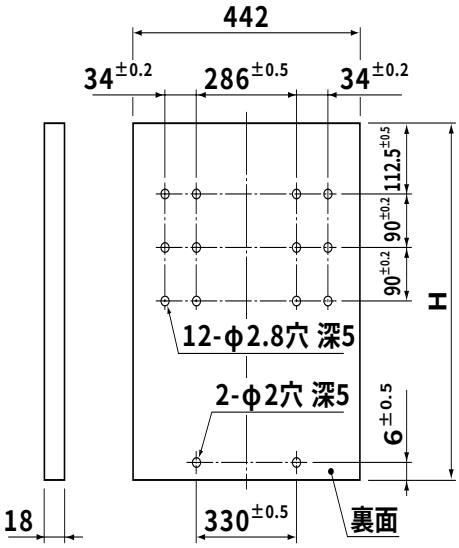
作　業　手　順	説　明　図
①ケコミ奥行きが40㎜以上の場合はケコミカバー上部の↓ケコミ奥行40mm～80mmの場合カットの部分をカッターナイフなどで切断してください。 ②ケコミカバーとケコミカバー取付金具の穴位置が合う高さで、床面側のV溝に沿ってカッターナイフなどで切断してください。 ※切傷防止のため、カッターナイフなどで切断面の端面処理をしてください。	  ※上図は切断位置の一例を示します。設置されるキッチン高さに応じて、ケコミカバーとケコミカバー取付金具の穴位置が合う高さで切断してください。

2-3 ケコミカバーの取り付け

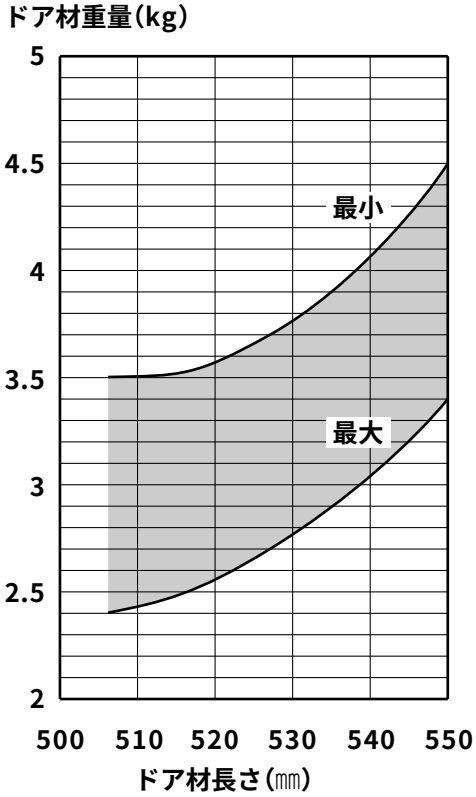
作　業　手　順	説　明　図
●同こんの黒色ネジ（M4×6）2本でケコミカバーを本体に取り付けてください。	

3. ドア面材の取り付け

3-1 ドア面材寸法とネジ下穴寸法



[単位：㎜]
[質量：3.4kg以下]



◎ドア材の重量と寸法
ドア材はドア長さ（H）によって取付可能な重さが変わります。右のグラフを参考にして取付可能な重さにして下さい。

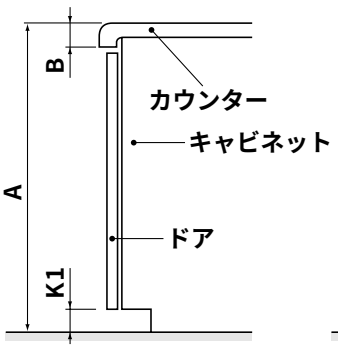
◎ドア面材H寸法の求め方
①キッチン高さAとカウンター前部の厚さBを調べます。

②食器洗い乾燥機の本体高さを求めます。
本体高さ＝A－B－C
［C寸法は5㎜を標準とします。］

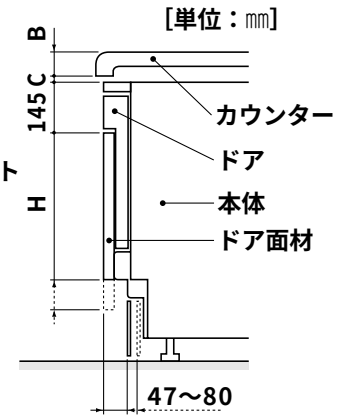
③キッチンケコミ高さK1を調べます。

④ドア面材H寸法を求めます。
ドア面材H寸法＝本体高さ－K1－145㎜
※H寸法は最小505㎜から最大550㎜のものを使ってください。

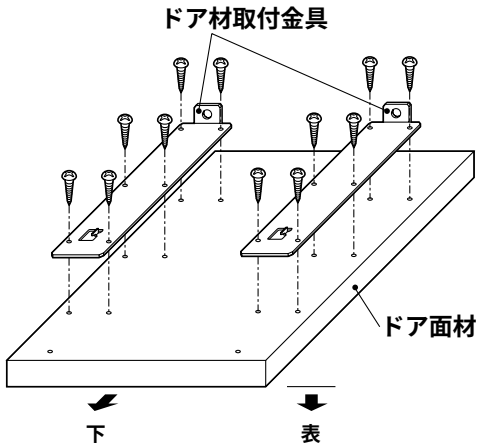
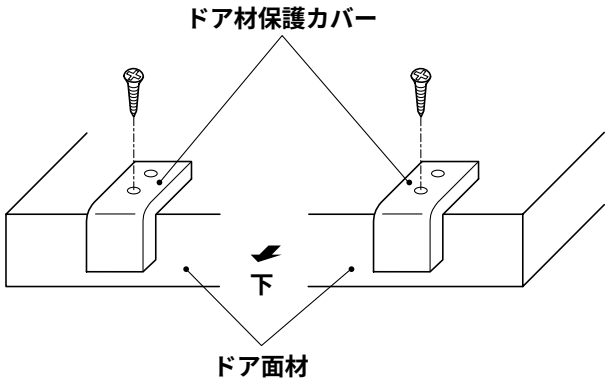
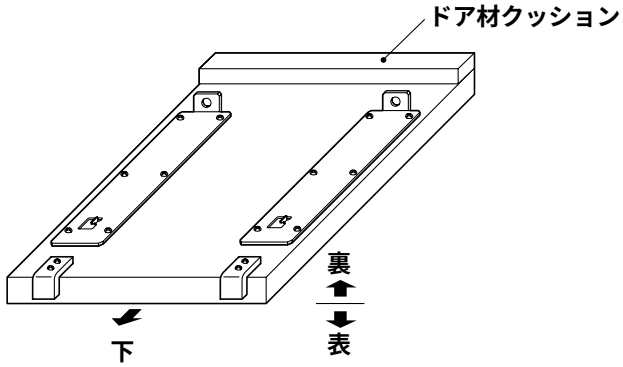
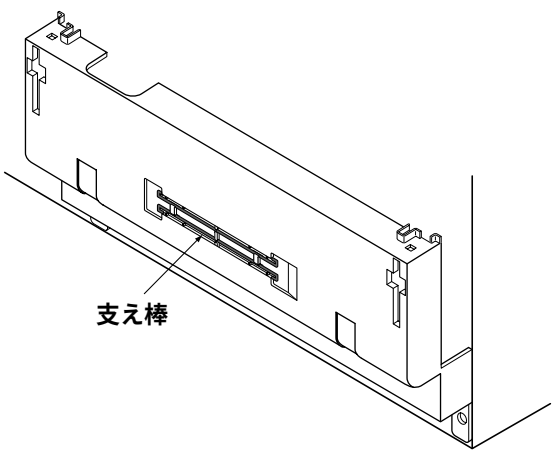
キッチンの寸法

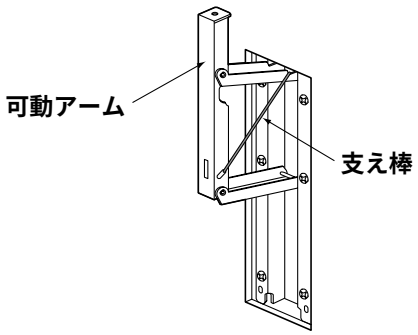
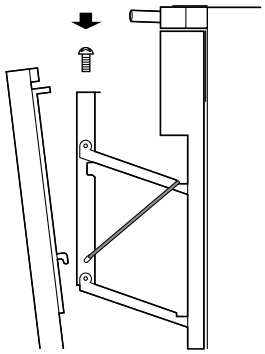
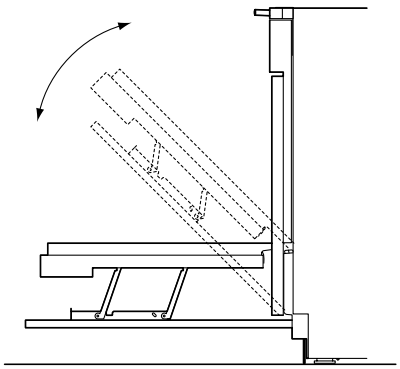


食器洗い乾燥機の寸法



3-2 ドア面材の取り付け

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
①ドア材取付金具2個をドア面材の下穴に合わせてタッピンネジ（呼び4×14）12本で取り付けてください。	① 
②ドア材保護カバー2個をドア面材の下穴に合わせて木ネジ（呼び3.1×13）2本で取り付けてください。	② 
③ドア材クッションをドア面材上端の裏面に貼り付けてください。	③ 
④支え棒2本を配管カバーより取りはずしてください。	④ 

作　業　手　順	説　明　図
⑤ドア本体の可動アームを引き出し、支え棒を可動アームに引っかけ固定してください。 **⚠注意** ●支え棒を正しく引っかける。 可動アームによって指づめのおそれがあります。	⑤ 
⑥ドア材取付金具の引っかけ部を可動アームの下部角穴に差し込んでください。 ⑦ドア材取付金具と可動アームを上部から小ネジワッシャー付（M5×10）で固定してください。 ⑧ドア面材下端を持ち上げ支え棒2本をはずして、配管カバーにもとどおりにセットしたあと、ゆっくりとドア面材をおろしてください。 **お願い** 支え棒は必ずもとにもどしてください。	⑥・⑦ 
⑨ドアを開閉し、ひっかかりなどがなくスムーズに可動アームが動くことを確認してください。	⑨ 

11. 仕様

電源電圧	単相交流100V	使用水量（標準コース）	約21.5ℓ	標準収納容量	大皿　8枚 中皿　8枚 小皿　10枚 茶わん　8点 吸物わん　8点 湯のみ　8点 コップ　8点 計58点 他に ナイフ・スプーン・フォーク・しゃもじ・さいばし
周波数	50/60Hz共用	使用水圧	0.03～1MPa（0.3～10kgf/㎠）		
消費電力	・ポンプモーター（50/60Hz） 洗浄時：145W/187W 排水時：147W/188W ・ヒーター　1080W ・最大消費電力（50/60Hz） 1225W/1267W	洗浄方式	回転ノズル噴射式		
		すすぎ方式（標準コース）	水すすぎ　2回 加熱すすぎ　1回		
定格電流	50Hz：12.3A／60Hz：12.7A	乾燥方式	ヒーターとファンによる強制排気乾燥		
外形寸法	幅448㎜×奥行580㎜×高さ750㎜				
製品の質量	約32kg				